

市川市市民活動団体支援金交付申請内容変更承認申請書

18年6月21日

市川市長

団体名 「げんき会」(市川失語症友の会)
代表者名 田中武志
所在地 市川市妙楽3-3-16
電話 047(357)0523

市川市市民活動団体支援金の交付申請内容について、下記のとおり変更の承認を受けたいので、市川市納税者が選択する市民活動団体への支援に関する条例第11条第1項の規定により、申請します。

記

1. 事業の名称 発妊・胎中予防のための啓発事業及び障害者の社会復帰を支援する事業。
2. 変更の理由 支援金が増えたため。
3. 変更の概要 秋にもう一、セミナーを開き、昨年は購入出来なかった事業に使用する備品として、ノートパソコンを購入する。
(これまで、セミナー開催時には、パソコン等を借用していた)
4. 変更後の事業費総額 580000円
5. 変更後の交付申請額 290000円
6. 添付書類
 - (1) 市川市市民活動団体支援金申請事業計画書 (様式第3号)
 - (2) 市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書 (様式第4号)



市川市市民活動団体支援金申請事業計画書

<p>事業の名称</p>	<p>多発する「脳卒中」予防のための啓発事業、及び障害者の社会復帰を支援する事業。</p>	
<p>事業の目的、効果、アピール等 ※別紙添付可</p>	<p>脳卒中は、ある日突然倒れる恐い病気です。ストレス、過労の多い現代社会では50代の3人に1人が脳卒中予備軍といわれ、いつ誰かが倒れてもおかしくありません。年々増え続ける脳卒中患者を減らす、予防のためのセミナーと、行政、医療関係者、介護にたずねる地域の人々から失語症者を理解レベルを高めるためのサポートセミナーを通じ、相互理解を深めるセミナーをやってみる。</p>	
<p>主な対象者</p>	<p>一般市民、</p>	
<p>事業実施期間</p>	<p>平成18年4月～平成19年3月</p>	
<p>事業実施場所</p>	<p>勤福センター、行徳文化ホール、市川文化ホール(会議室)</p>	
<p>事業スケジュール 公開セミナー</p>	<p>時期(月) 平成18. 5.27(日)</p>	<p>内容 大田仁史 講演会 「子孤独地獄」と闘う人々 ○ 勤労福祉センター</p>
<p>9</p>	<p>11月</p>	<p>「脳の健康、脳卒中予防、後遺症、介護」 講師 市川リハ病院 松野、和田、海津ST ○ 行徳文化ホール101号室</p>
<p>11</p>	<p>平成19 1月</p>	<p>「失語症サポートセミナー」 講師 江戸川病院 越部裕子ST ○ 市川文化ホール 号室</p>
<p></p>	<p></p>	<p></p>

市川市市民活動団体支援金申請事業収支予算書

事業の名称: 多発する「脳卒中」予防のための啓発事業及び障害者の社会復帰も支援する事業。

1. 【収 入】

(単位: 円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
会費収入	129,000	2,000 × 64.5
寄付金	161,000	
補助金	290,000	市川市市民活動団体支援金
合 計	580,000	

2. 【支 出】

(単位: 円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
会場使用料	20,000	セミナー会場
講師謝礼	200,000	セミナー講師と協力者への謝礼
印刷費	20,000	セミナー資料作り、印刷
通信費	20,000	お知らせ等 郵送料
事務消耗品	20,000	事務用品等
事業備品	220,000	パソコン、付属品の購入
宣伝費	20,000	パンフレット作成
雑費	50,000	お茶代等
合 計	580,000	

3. その他

交付決定額が交付申請額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

(はい ・ いいえ)

備考 支援金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に支援決定事業収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。